

県外派遣報告書

審判員名	大野 紗佳	所属	U12西部	
大会名	第55回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会			
期間	3/28～3/31			
会場	国立代々木競技場第1体育館、第2体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
3月19日	審判研修会	オンライン		
会議 講義 内容				
<p>【2POメカニクスについて理解を深める】講師:上杉 侑里子 様</p> <p>▼目的 近年3POが普及し多くの大会で運用しているため、講習会の内容も3POが多くなり、以前に比べて2POを学ぶ機会が減った。 しかし、地域のアンダーカテゴリーのゲームでは2POが多く運用されている。 そこで、2POを実践できる力・判定力・教えられる力を向上し、3POも2POもどちらも正しく実践できるようになることで上級審判員として必要な要素を身につける。</p> <p>▼内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lの右へ行くタイミング ・エリア3の見方 ・プレーを捉えるために準備をしておくこと 				
担当試合	期 日	3月28日		女子
	対戦カード	長野県	VS	広島県
	相手審判	西村 正太郎さん(長崎県)		
ミーティング内容		主任	なし	
<p>PGCでは上杉様のレクチャーを参考に、メカの確認。 1試合を通して、カバーディフェンスがLGPを占める前に、接触が起きることが多く、それに対してはLが積極的に判定をしてメカの分担ができた。 2Q以降、両チームともにディフェンスがハードになり、シリンダーを超えた手やボディのコンタクトが増えた。明らかなものにはコールできたが、ボール運びやショットに対して前半はもっとシビアにコールをするべきだった。 全国レベルとはいえ、U12カテゴリーなので、やられているという感覚をもっと極めるべきだと感じた試合だった。</p>				
担当試合	期 日	3月30日		男子
	対戦カード	大分県	VS	新潟県
	相手審判	重田 和也さん(岐阜県)		
ミーティング内容		主任	なし	
<p>TO管理に課題が残るゲームだった。 ゲームクロックを常に持つておくことで、ほとんどのケースで正しく修正ができると再認識をした。 力の差があるゲームだったので、ファールバランスを意識した。新潟のリーガルな接触は認めつつ、シリンダーを超えた手を整理。得点差関係なく、シュートチェックに関してはシビアに判定をした。3Qの途中から、両チーム集中しプレーの質が良い方へ変わってきたのでプレーヤー主導でゲームを進めたかったが、</p>				

マージナルな部分に笛が入ったことで流れを止めてしまった。
 改めて、明らかなものにコールをすることの重要性を感じた。イリーガルな手に対しては判定をし続け、ボディは影響まで見ることで、選手・ベンチ・観客がノンストレスで試合に臨むことができる。

	期 日	3月31日	男子	
担当試合	対戦カード	兵庫県 VS 秋田県	CC	U1 U2
	相手審判	吉川 和希さん(福井県)		

ミーティング内容 主任 なし

両チームともにサイズのある選手がいるため、高さを生かしたプレーができるように心掛けた。
 タフなプレーが多く、プレーヤーがゲームに集中できていた。しかし、ブロックorチャージの部分で、ディフェンスの努力を認めてあげるべきシーンが2本あった。Tのレベルをもう少し下げていると判定ができた
 と考える。また、1試合通して秋田の足元は整理するべきだった。
 本試合は、明らかなものにコンスタントにコールをしたことで、ゲームの流れが止まることなく、3日間の中で1番プレーヤー主導でのゲーム運びができたと思う。

全体の感想

今大会1番感じたことは、初めてお会いする方とクルーを組む難しさです。お互いがお互いのレフェリングを見たことがない中で、1試合担当することは容易ではないと感じました。
 その中で大切になったのが、競技規則の理解とPGCでした。活動している地域は違えど、競技規則をもとに判定を行うので、審判員としてルール理解は必須だと改めて感じました。また、PGCに関しては、メカの確認やプレーコーリングに加え、チーム情報の確認・共有がとても重要でした。今回はバスケットライブにて配信がされていたので、一緒に映像を見ることができた点は良かったと考えます。
 最後に、管様、上杉様をはじめとする東京都の皆様には、4日間大変お世話になり感謝申し上げます。そして、この度このような貴重な機会を与えてくださった埼玉県の皆様にも感謝申し上げます。
 今回学んだことを連盟に伝達し、今後の活動に生かしていきたいと思っております。